

“ふるさとちば”のための政策推進を



佐藤まさみ県議会リポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

森林環境税、早急に導入を

県民が安心して暮らせる財政運営求め

習志野市特集 9月県議会・一般質問



本会議場で一般質問に登壇した佐藤正己県議

市議四期、市議会議長を経て、現在は充実の県議三期目という豊富な政治経験を踏まえ、習志野市選出の佐藤正己(まさみ)県議は、九月定例県議会の一般質問に登壇し、県政の基本である財政問題をとり上げ、県民が安心して暮らせる財政運営を求めて、財政調整基金の積み立てなどを提唱しました。また、森林環境税の早急な導入により、地球温暖化対策への真剣な取り組みを求めたほか、自民党千葉県議会スポーツ振興議員連盟会長として、「ゆめ半島千葉県」を成功に導くための予算措置などを求めました。佐藤県議の主な質疑を1、2面で特集します。

ひとの心を大切に「豊かな習志野市」

財調基金でできる状況にない

佐藤議員 厳しい財政状況の中でも、中長期的視点に立つて財政調整基金を計画的に積み立て、県民が安心して暮らせる財政運営を行うようにすべきと思うが、どうか。
堂本知事 就任以来、基金が平成十年度からゼロになつていったことは、何度とも言わせていただいておりますが、新聞報道により、全国的な比較もあり、大変なことだという意識が共有できてきたような気がします。

知事「できるだけ早く判断したい」

佐藤議員 いわゆる森林環境税については、早急に結論を出し、導入すべきかどうか。
堂本知事 いわゆる森林環境税については、社会経済情勢を十分考えながら、何度もお答えしていますが、一方で、①洞爺湖サミットを契機として、地球温暖化対策への国民の関心が高まっています。②里山や森林の保全・整備の対策も急がなくてはなりません。③すでに三十県において、導入済みです。財政がいろいろな局面で足りないことは

現時点では、財源不足を抱えたままの予算編成を余儀なくされており、たとえ基金に積み立てを行っても、形式的なものに過ぎず、すぐ取り崩さなくてはなりません。現在は、新たに積み立てができる状況にはないと申し上げざるを得ませんが、今後も引き続き行財政改革に努めてまいります。こうした状況をできるだけ早く脱却することが、千葉県の財政健全化の一つの側面だということは、はっきりと申し上げておきたいと思っております。

要望 森林環境税は、私林の大切さを思い起し、みんなで森を守っていくという機運を醸成させる契機になるものと思っております。子孫に豊かな森を継承していくためにも、森林環境税を速やかに導入し、ぜひ必要な施策を行っていただきたい。

平成元年には二百三十億円あったものが、平成四年度にはほぼ二百億円に減り、平成七年度には二十億円を

県政や習志野市のご相談、ご意見を聞かせてください。

佐藤まさみ県議事務所

〒275-0001 習志野市東習志野3-15-11
TEL047(475)2001

ゆめ半島 千葉国体 来年度必要な予算確保へ

習志野市特集 9月県議会・一般質問



自席から再質問する佐藤正己県議

国体の予算拡充を図れ

佐藤議員 「ゆめ半島千葉国体」に向け、本県選手の競技力向上を図るため、予算の拡充を図るべきかどうか。

佐藤議員 「ゆめ半島千葉国体」に向け、本県選手の競技力向上を図るため、予算の拡充を図るべきかどうか。

地層の種類や硬さを公表へ

佐藤議員 地下構造がどうなっているのか分かる「地下構造マップ」を、県民に分かりやすく知らせることが重要だと思うが、どうか。

佐藤議員 地下構造がどうなっているのか分かる「地下構造マップ」を、県民に分かりやすく知らせることが重要だと思うが、どうか。

市町村地籍調査進まず全国40位

佐藤議員 市町村が主体となつて土地の境界や所有者などを確定する地籍調査について、現時点での事業の進捗状況はどうか。また、今後どのように事業の推進を図ろうとするのか。

佐藤議員 「商業者の地域貢献に関するガイドライン」の、現在までの運用状況はどうなっているのか。

商業者の地域貢献ただす

佐藤議員 「商業者の地域貢献に関するガイドライン」の、現在までの運用状況はどうなっているのか。

佐藤議員 地球温暖化防止の取り組みを進めるうえで、大型店やコンビニの営業時間短縮を企業に働きかけていくべきと思うがどうか。

環境生活部長 大型店やコンビニ等の深夜営業に関しては、七月に開催した「ちばCO2・CO2ダイエツト推進県民会議」で、対策の実施によって効果を検証する必要がある。などの意見が出されています。営業時間の短縮については、現状の把握、削減効果の検証等を進め、同会議において、引き続き議論してまいりたいと考えています。



県議会の自民党控え室で、米の消費拡大で最近注目されている米粉パンを試食する佐藤県議

重要課題で知事を追及

9月定例県議会、最大会派の自民党が党の代表質問を行いました。代表質問は、財政問題を筆頭に、逼迫する自治体病院への支援策を含む地域医療問題や救急医療問題と先端医療、食の安全・安心、三番瀬問題、今後の企業立地、農林水産業などいずれも県政の重要課題を取り上げ、堂本知事の姿勢を追及し、党としての懸念を表明しました。知事は、九月補正段階でもなお九十億円の財源不足には、「楽観が許されない」として、滞りなく全庁一丸での経費削減による年度内の財源不足解消を表明しましたが、全体としては、県政への明確な姿勢はみられませんでした。

元気な習志野
まちづくり宣言
佐藤まさみ県議